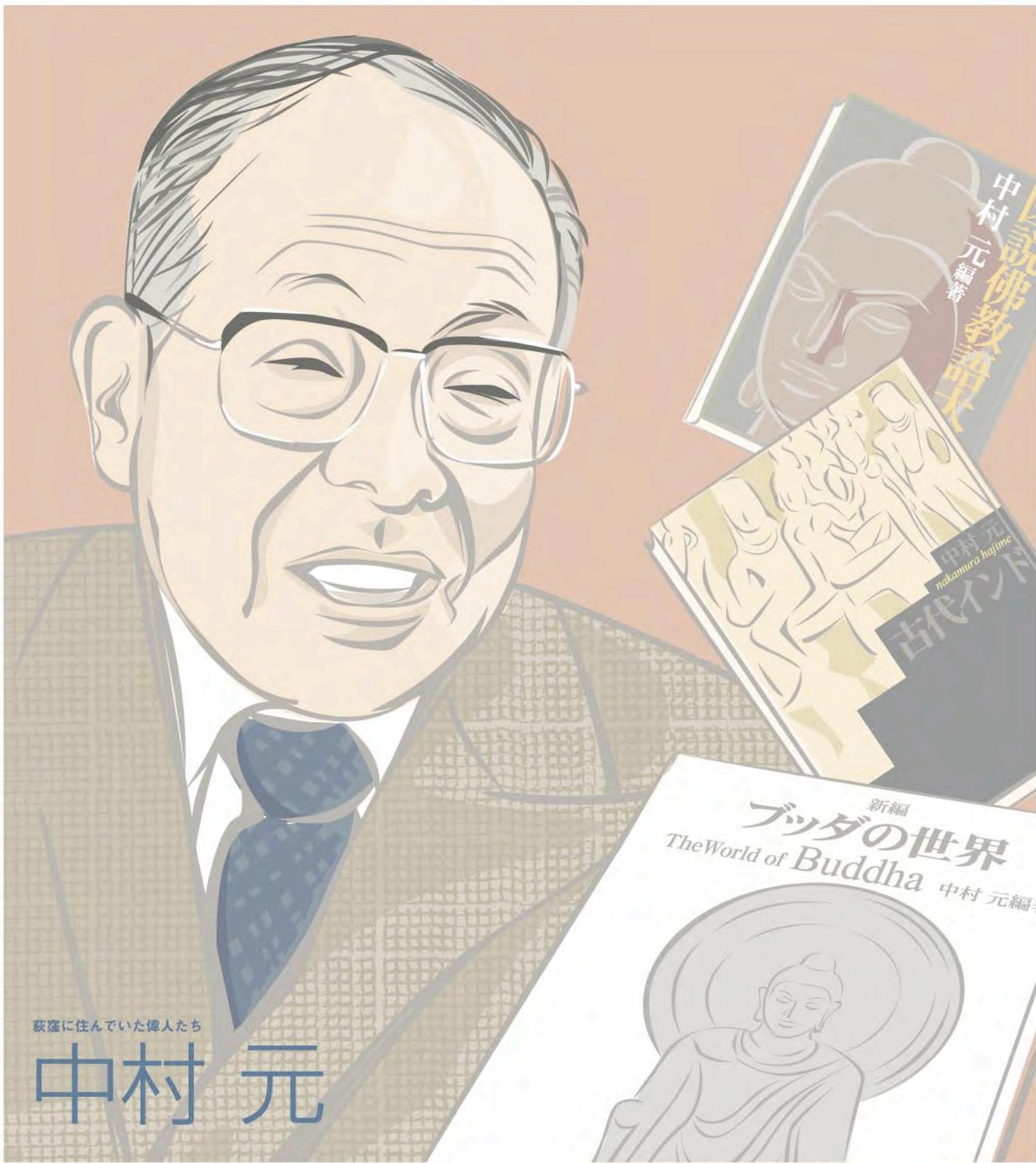


荻窪法人会 会報

OGIKUBOHOJINKAI BULLETIN

AUGUST 2005



荻窪に住んでいた偉人たち

中村元

CONTENT

- 理事改選
- 3 **第32回通常総会**
◎会長あいさつ 水島隆年／荻窪法人会会長
◎来賓祝辞 中村勝彦／荻窪税務署署長
- 税のPR、法人会のPRを、より広く伝える
- 6 **第3期目を迎えて**
◎水島隆年／荻窪法人会会長
- 7 **新理事紹介**
- 日本の青年たちよ、一人で旅立て 一步を踏み出す勇気をもとう
- 10 **新組織委員長インタビュー**
◎志村正之／組織委員長
- 第31回総会と30周年記念式典を吉祥寺の第1ホテルで挙
- 12 **社団法人荻窪法人会 青年部会**
◎松澤和洋／青年部会長
◎水島隆年／荻窪法人会会長
◎中村勝彦／荻窪税務署署長
◎歴代青年部会長と実績
- 支部活動が法人会の原点
- 16 **新支部長座談会**
- 23 **着任のごあいさつ**
荻窪税務署 新幹部
- 24 **支部長訪問**
◎木山濃美／第4支部長
◎佐藤熊男／第13支部長
- 連載企画**
- 26 **インターネットの利用法**
- 28 **税務コーナー**
- 30 **委員会・部会報告**
青年部会／女性部会／源泉部会
ブロックだより



【中村 元】なかむら はじめ（東京大学名誉教授）

1912（大正元）年、松江市生まれ。東京帝国大学文学部印度哲学梵文学科卒業。東京大学名誉教授。1977（昭和52）年文化勲章受章。インド哲学を中心に、幅広くかつ超人的な仕事ぶり知られ、海外からも高い評価を得た。旺盛な学術研究・教育活動のかたわら、仏教を多くの人々にわかりやすく伝えることをめざして平易な入門書を数多く執筆、また、東方研究会・東方学院を創設し、学問普及に大きな役割をはたした。1999（平成11）年没。久我山4丁目に在住。



社団法人荻窪法人会

第32回通常総会

荻窪法人会第32回通常総会が5月27日に来賓18名、会員197名出席のもと議事は滞りなく進行されました。今年度は理事改選の年にあたり、会長には水島隆年氏が選出され、新たに新執行部が発表されました。特に今年度は女性理事が4名と今までになく多く選出され、今後の活躍が期待されます。

運営功労者感謝状を受ける岡田氏

社団法人荻窪法人会第32回通常総会
は中村勝彦荻窪税務署長、佐々木辰男
荻窪税務副署長並びに中西充杉並都税
務所長など多くの来賓のご参会を得
て5月27日（金）にタウンセブン8Fで
行われました。通常総会は開会のこと
ば、会長挨拶の後、水島会長を議長に
選出して議事第1号議案（平成16年度
事業報告承認の件）第2号議案（平成
16年度収支決算報告並びに監査報告承
認の件）第3号議案（平成17年度事業
計画承認の件）第4号議案（平成17
年度収支予算案及び承認の件）第5号議
案（定款の一部変更と追加承認の件）第
6号議案（任期満了に伴う理事及び監
事改選の件）が上程され満場一致で全議

案が承認されました。今年度は第6号
議案にあるように理事改選に伴い副会
長1名と7委員会のうち4委員長が改
選されました。

また理事59名も改選されました。
会長、副会長人事は松澤洋二氏が監
事に勇退された以外は引き続き再選
されました。松澤氏の後任は前組織
委員長の井口一与氏が副会長に選出さ
れました。

その後運営功労者感謝状、会員増強
特別感謝状、会員増強特別功労支部感
謝状、会員増強優秀支部感謝状、会員
増強功労者感謝状、優良経理職員表彰
状の贈呈がおこなわれ第32回通常総会
は滞りなく終了しました。



Greeting



会長あいさつ

社団法人荻窪法人会会長 水島隆年

**組織率が東法連3位で表彰。
景気はまだ曇り空、会員同士切磋琢磨していきたい。**

荻窪法人会の会員の皆さま、総会へお集まりいただき本当にありがとうございます。ご集まっています。

また、中村荻窪税務署長をはじめ杉並都税事務所そして関連団体の会長の皆さまご臨席ほんとうにありがとうございます。

今年1年荻窪法人会と言いますと加入率のアップでたいへん会員の皆さまにはご努力いただきました。昨日、東法連の総会において我々の代表として及川厚生事業委員長が組織率増強ということと代表として表彰されました。東法連のなかで3番目に組織率がいいということとです。東法連にお伺いしても鼻の高いたいへんよい思いをさせていただきブロッタ長さま、支部長さま、会員の皆さまに本当に感謝したいと思えます。

いま、日本全体を取り巻く環境といえますと外では中国の靖国問題が一番大きな問題だと思えます。これは経済成長をあまりに重視してきた日本が世界のなかで国家として認められるか、認められないかという決断の時だと思えます。やはり内政干渉という意味もあるし経済のほうが重要だという意味もあるしいろいろな意味で日本国は判断をしなければならぬ時かなと、また国内においては郵政の民営化が最大の関心事ではないかと思えます。

法人会の皆さまの会員企業を見ていますと、まだトヨタ、キャノンのようにたいへん高収益を上げている段階ではないんじゃないかと、その中で消費が伸びないのは感じるところやはり社会保障制度と言いますか年金の問題といいますが、この年金の問題に早く方向性を決めないと消費が上がってこないのかなと思えます。

やはり将来に対しての不安というのがありますと消費は上がってこないのかという気がします。どういうことで決着するかは国で判断することと思えますが、我々地元としての景気の悪さはそんなところにあるのかなと、早く方向性を創ってもらいたいと思えます。今はまだそんなに晴れという時代ではありませんが曇りです。ただし晴れに向かっていく曇りかなという気がします。

法人会というのは経営者の集まりと前から言われております。そのなかで切磋琢磨してお互いの事業が利益が上がることを努力したいと思います。どうぞ私もその中で少しでもお役に立てたらと思っています。

本日は開会にあたりまして一年間のお礼を申しあげまして開会のあいさつに代えさせていただきます。

本日はほんとうにありがとうございます。

Congratulatory address



来賓祝辞

荻窪税務署長 中村勝彦

**名門荻窪法人会がよりいっそう発展されることを期待したい。
また、社会の変化や多様化する納税者ニーズを的確にとらえ
適正公平な税務行政の確立をはかりたい。**

本日は社団法人荻窪法人会の第32回通常総会にお招き誠にありがとうございます。

社団法人荻窪法人会の皆さま方には日頃から税務行政に對しまして深いご理解と多大なご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。ただ今の総会におかれまして予定された全ての議案が滞りなく可決されましたことをお喜び申し上げますと共に、決定されました活動方針に基づき様々な事業活動を積極的に展開し、名門荻窪法人会がよりいっそう発展されますことをご期待申し上げます。

また、法人会の主旨をよく理解され会員増強運動や優良経理職員として長年にわたる法人会に対するご功績に對し感謝状、表彰状を得られました皆さま、誠におめでとうございます。皆さま方の日頃のご尽力に對しまして心より敬意を表しますと共にさらなるご活躍をされますことをお祈り申し上げます。

さて、最近の税務行政を取り巻く環境は経済のグローバル化や少子高齢化が進み人口減少社会に入らなで経済社会の構造は大きく変化してきております。私どもといたしましては、こうした経済社会の変化や多様化する納税者ニーズを的確にとらえ、適正公平な税務行政の確立をはかることにより納税者の

皆さまから理解と信頼を得られるよう全力を尽くして参る所存でございます。

なお、昨年来取り組んでまいりました改正消費税法の円滑な定着と電子申告、納税システムの普及促進につきましては本年も引き続き力を入れていきたいと考えておりますので、荻窪法人会の皆さま方には今後ともいっそうの力添えを賜りますようお願いを申し上げます。

結びにあたり社団法人荻窪法人会のますますのご発展と会員の皆さま方のご健勝ならびにご事業の繁栄を心から祈願いたしまして私の祝辞とさせていただきます。

本日はおめでとうございます。



The third stage

Takatoshi Mizushima

第3期目を迎えて

荻窪法人会会長 水島隆年



税のPR、法人会のPRを、 より広く伝える

第32回通常総会も会員皆様のご協力を依り、無事終了いたしました。ありがとうございました。暑いがとうございました。署の異動の発令も終わり、新しい人事が決まりました。今年度が始まるうとしております。中村署長を始め、多くの幹部の皆様には、お世話になり厚く御礼申し上げます。

法人会も役員の改選があり、新しい役員が決まり、6月から活動を開始するところであり、今回の役員改選に伴い、私と共に法人会活動に多大なご尽力を頂いた、松澤前副会長はじめ多くの役員が退任されました。これまで前役員の皆様が示されましたご尽力に対し、深く感謝申し上げます。

今回の総会で役員の改選がありました。法人会名簿を出す時期を延期したいと思っております。個人情報保護法が4月1日から施行され、どう対処するかその方向性が固まっていないからです。私の会

長職も3期目に入り、今後の法人会活動の方向性を決める時期だと思えます。

JR 西日本の事故、道路公団の天下りの問題など官公庁のあり方に対する国民の目が厳しくなっている今日、署とのコミュニケーションをどう取るか？また、署と法人会の関係を考えるだけではなく、税のPR、法人会のPRを、より広く伝える必要があるのではないかと、それにはどのようなしたらよいかと思っております。

組織率、70%の高い率を維持することも大切と考えております。未入会の法人の方々に「入ってください」と頼むと共に、一般の人々に「法人会って一体何だろう？」という事を理解していただく事を活動の中心にしなければならぬと思っております。これから法人会会員の皆様から多くのご意見を聴き、話し合っ、今後の活動の方針を決め、皆様と共に発展して行くことを心より願っております。

新理事紹介

今年度は理事改選の年にあたり副会長に井口一与氏が選出され4委員会の委員長が新たに改選されました。また源泉部会長には上田仁士氏が青年部会長には松澤和洋氏が就任。

会長・副会長



副会長
(株)井口鋳油
井口一与



副会長
東洋時計(株)
小竹良夫



副会長
武蔵商事(株)
宇田川紀通



副会長
日ノ出樹脂工業(株)
住田岑二



副会長
坂田電機(株)
坂田幸彦



会長
(株)興建社
水島隆年

常任理事(委員長)



社会貢献活動事業委員長
(株)保坂彫刻工業所
保坂房雄



税制委員長
大新建設(株)
中原章雄



厚生事業委員長
(有)京樹屋
及川晃司



広報委員長
ADLIVE(株)
鹿野修二



研修委員長
(株)泉商会
八方淑夫



組織委員長・第20支部長
(株)志村運送
志村正之



総務委員長
(株)チャイルド社
柴田豊幸

理事



研修副委員長・第16支部長
(有)好味屋
永井茂久



組織副委員長・第14支部長
(宗)熊野神社
渡辺寛



第5ブロック長
(株)野村総業
野村一男



第4ブロック長
朝日梱包運輸(株)
山本芳雄



第3ブロック長
(株)マルマサ
宇田川康喜



第2ブロック長
(株)栄設計
木村達夫



第1ブロック長
アイユーシー(株)
五十嵐良夫

常任理事(ブロック長)

理事(支部長)



第4支部長
東京標識(株)
木山濃美



第3支部長
小代工業(株)
小代勉



第2支部長
(株)太田工業
太田順一



第1支部長
(有)万代住宅
井上正人



広報副委員長
(有)春日園
矢澤規充



研修副委員長
(株)菊池硝子興業
菊池隆



研修副委員長
(株)河又
河又雅之

理事

理事（支部長）



第11支部長
(株)ミオックス
三輪勝久



第10支部長
(資)上州屋酒店
栃本芳孝



第9支部長(源泉部会長)
(株)上田技術産業社
上田仁士



第8支部長
(有)オマタエステート
小俣富一



第7支部長
(有)フェニックスインターナショナル
小菅和敏



第6支部長
(有)サノ富士
佐野龍雄



第5支部長
(株)須田運輸
須田三好



第21支部長
(株)秦工務店
秦 寿吉



第19支部長
(株)大橋商店
宮地 元



第18支部長
(有)雨宮総合企画
雨宮正武



第17支部長
(株)アーバンファミリー
榊原 昭



第15支部長
豊多摩通運(株)
井上和英



第13支部長
(株)不動産鑑定 佐藤研究所
佐藤熊男



第12支部長
(有)尚文堂印刷所
小泉憲雄



第28支部長
相馬商事(株)
相馬秀行



第27支部長
やよい運送(株)
田辺一郎



第26支部長
(株)丸大
蝦名常盛



第25支部長
八欧産業(株)
嶋 信介



第24支部長
(有)テラー山中
山中健宏



第23支部長
八千代興業(株)
山下民子



第22支部長
(株)ヘニヤ洋菓子店
加藤徹郎

理事



理事
(株)古瀬発条製作所
竹之内勝利



理事
三研マイクロホン(株)
竹内迪子



理事
大一建設(株)
佐藤則好



理事
小笠原工務店(株)
小笠原庸晶



理事(女性部会長)
(株)イノバ自動車
井野場よ志子



理事
(株)日本ファクシミリ
稲澤 修



理事
丸二紙業(株)
市川忠義

監事



監事
(有)春日園
矢澤末張



監事
(株)ロードランナー
松澤洋二



監事
(株)芳文社印刷
岡 博文



理事
(株)サンメリット
八重幡清忠



理事
(有)三田インテリア
三田恵子



理事(青年部会長)
(株)ロードランナー
松澤和洋



理事
(株)報恩商店
橋 國太郎

理事

組織委員

副会長	井口一与
委員長	志村正之
副委員長	石黒貞男 安村喜久子 渡辺 寛 永田政弘 宮本一成
委員	第1ブロック：松野 裕 第1ブロック：石黒貞男 第2ブロック：八重幡清忠 第2ブロック：安村喜久子 第3ブロック：関口竜治 第3ブロック：菊地美枝 第4ブロック：渡辺邦夫 第4ブロック：永田政弘 第5ブロック：舘 充 第5ブロック：平井政武 第5ブロック：山中健宏 第5ブロック：宮本一成 第1支部：木村拓史 第2支部：松野 裕 第3支部：佐藤則好 第4支部：後藤芳宏 第4支部：岸岡秀直 第5支部：藤田万里子 第6支部：小川美那子 第7支部：安村喜久子 第8支部：小俣富一 第9支部：稲澤 修 第10支部：栃本芳孝 第11支部：管 省吾 第12支部：丸山一人 第12支部：関 昌央 第13支部：岡 博文 第14支部：渡辺 寛 第15支部：井垣淑雄 第16支部：柳沢勲平 第17支部：菊地美枝 第18支部：雨宮正武 第19支部：畠山和男 第20支部：寺嶋佳章 第21支部：秦 寿吉 第22支部：田中晴弘 第23支部：永田政弘 第24支部：山中健宏 第25支部：宮本一成 第26支部：三田恵子 第27支部：早川弘一 第28支部：平井政武 青年部会：小笠原秀明 青年部会：鈴木千鶴 女性部会：三田恵子 女性部会：中島禮子

厚生事業委員

副会長	宇田川紀通
委員長	及川晃司
副委員長	大野木 潤 北嶋 宏
委員	第1ブロック：葛和洋子 第1ブロック：塚原辰雄 第2ブロック：千葉喜玄 第2ブロック：北嶋 宏 第3ブロック：宮下通孝 第3ブロック：大久保久子 第4ブロック：畠山和男 第4ブロック：大野木 潤 第5ブロック：蝦名光世 第5ブロック：竹内迪子 青年部会：岡 博之 女性部会：蝦名光世 女性部会：大久保久子
共済関係	大同生命保険(株)新宿支社 AIU保険会社 東京第一ISオフィス アメリカンファミリー生命保険会社

税制委員

副会長	住田岑二
委員長	中原章雄
副委員長	五十嵐良夫 岩倉永一
委員	第1ブロック：山崎 勲 第2ブロック：北出 肇 第3ブロック：岩倉永一 第3ブロック：小林誉光 第4ブロック：千代延 博 第5ブロック：相馬秀行 青年部会：田中晴弘 女性部会：渡辺繁子 女性部会：野田とめ子

社会貢献活動事業委員

副会長	住田岑二
委員長	保坂房雄
副委員長	国保恵昭 織茂育代 成瀬雅人
委員	第1ブロック：春日義夫 第1ブロック：東 文子 第2ブロック：小川美那子 第3ブロック：井上徳成 第4ブロック：宇田川 誠 第5ブロック：児玉慶子 青年部会：中川 一 女性部会：東 文子 女性部会：児玉慶子

総務委員

副会長	小竹良夫
委員長	柴田豊幸
副委員長	加藤敏行 金子淑夫
委員	第1ブロック：田中盛雄 第1ブロック：後藤芳宏 第2ブロック：種子田武隆 第3ブロック：渡辺 寛 第4ブロック：太田哲二 第5ブロック：金子淑夫 青年部会：真野 大 女性部会：渡辺明子 女性部会：小川美那子

研修委員

副会長	小竹良夫
委員長	八方淑夫
副委員長	永井茂久 河又雅之 菊池 隆
委員	第1ブロック：岸岡秀直 第1ブロック：佐藤安彦 第2ブロック：榎田嘉生 第3ブロック：斎藤敬子 第4ブロック：本田正一 第5ブロック：小笠原庸晶 第5ブロック：鈴木愛山 青年部会：柴田夏航 女性部会：秋葉恵子 女性部会：市川恵美

広報委員

副会長	坂田幸彦
委員長	鹿野修二
副委員長	矢澤規充
相談役	中山一昭
委員	第1ブロック：井口悦明 第1ブロック：佐々木 止 第2ブロック：小菅和敏 第3ブロック：神崎重紘 第3ブロック：多比良秀俊 第4ブロック：加藤孝一 第5ブロック：嶋 信介 第5ブロック：中島敬太 青年部会：中島康治 女性部会：光藤多禰子 女性部会：久下本保子

日本の青年たちよ、一人で旅立って 一歩を踏み出す勇気をもとう



新組織委員長インタビュー

志村正之 組織委員長

聞き手 ◎ 鹿野修二 矢澤規充

昨年、孫が誕生。53歳のおじいちゃん。「まだまだ若いですよ。これからです」と志村新組織委員長。力強い一言一言が若い従業員の心を動かすのかと思いきや、「こちらが誠心誠意で行動すれば、言葉で強調しなくても必ず伝わります」とお話しくださしました。行動力と人間的な魅力にあふれた企業トップである志村氏に、故郷・塩山で思い描いたアマゾンへの夢、お子さんへの思い、新組織委員長としての抱負などをうかがいました。

少年時代に抱いたアマゾンへの夢

志村組織委員長が、高校卒業までを過ごしたのは山梨県塩山。都心から車で1時間半ほどの距離にある塩山市は、武田信玄の菩提寺として知られる恵林寺をはじめ武田氏ゆかりの神社仏閣や歴史文化遺産も多いところです。東京での生活のほうが長くなった今も、故郷に別荘をもち、夏休みや、ときには週末をそこで過ごすそうです。石投げやチャンバラで遊んだやんちゃな少年時代。山へ川へと思いつき駆け回った志村少年の胸には、大きくなったら広いところで何かやってみたい、アマゾンへ行ってみたい、そんな夢がふくらんでいました。

高校時代はラグビー部で活躍、卒業後上京し、杉並で運送業を営んでいた叔父の家から大学へ通いました。しかし、その間、アマゾンへの夢は消えることはなかったそうです。

「大学を卒業したのがオイルショックのときで、海外旅行がはやりはじめたころ。知人が保証人になってくれたこともあって、アメリカへ行っただけです。ニューヨークで一年半くらい。そこで皿洗いのアルバイトをしながらドルをかせいで、南米を回ったんです」

およそ2年の旅を終えて日本に帰ったのち、現在の株式会社志村運送に入社されました。親戚の家業でもあり、入社までは様々な思いがあったといいいます。社会的な経験を積むチャンスと考え、他企業への就職試験にも挑戦されました。高校時代、ラグビー部として全国ベスト4の実力をもつチームの一員として活躍し、大学でもラグビー部に所属していた志村氏は、その経歴と人柄で入社試験の役員面接も難なくパス。しかし、すでに就職先は心に決めていました。

「丁重にお断りしました。もしどこかの会社に勤めていたら、クビになるね（笑い）」

組織のトップが雰囲気づくりを

組織委員、支部長などさまざまな形で法人会の活動に携わってきた経験をともに、新組織委員長としてますますパワーを発揮されることが大いに期待されています。

「僕はこれまで、皆さんに助けられながら自分なりにやりたいようにやってきましたと思う。人に迷惑をかけないという信念でやってきたけれど、言いたいことを言って反省することもあります。で



も、誰でも欠点、弱点があるし、失敗もある。みんな同じように頑張っているんだから、あまりくよくよしちゃいけない、前を向いちゃったほうがいいという性格なんです。

なぜ僕が組織委員長になったかという、僕の支部の組織率を見てもらえばわかるけれど、とても低い。だから少しでも組織率を上げるために任命されたんです(笑)。必ずや上げるとまでは言わないまでも、キープしたい。皆さんが言ってくださるような、僕の活動的な性格が、それに貢献できれば一番幸せだと思います」

荻窪法人会は成熟期に入り、組織率70%を維持しています。入会社数と退会社数がほぼ同じという最近の動向を見ると、これまでは入会に力を入れてきたけれど、会員の方に目を向け直して、組織委員会だけでなく、それぞれの委員会が知恵を出して、全体として魅力ある法人会にしていくことが必要とおっしゃいます。

「組織率の高い支部を見習わなければいけない点もある。そういう支部はどんな雰囲気なのか。まねたほうがいい面があるはず。組織というのは、上に立つ人の心構え一つで変わります。組織率の上がる雰囲気づくり、それを日夜、悩んでいるんです(笑)」

一歩踏み出せば大きく変わる

志村組織委員長のご趣味は、ゴルフと旅行。奥様と一緒にゴルフが、一人か仲間と連れだって旅するのはやはり海外です。

ご家族は、奥様と3人の娘さん。

「長女が結婚して、昨年、孫が生まれましたけど、もうかわいくて仕事なんてどうでもよくなっちゃった(笑)。男は本能的に子孫繁栄のために生きている。子どもを育てて孫を見たら、もう死んでもいいんだね男は。それほど、かわい」と、満面の笑みを浮かべる志村氏。行動力と人間的な魅力にあふれた企業のトップですが、孫を見て「世の中にこれほどすばらしいものがあつたのか、今までの人生は何だったのかとさえ思います。でも、過去があつての今だから、改めてすべてに感謝している」とも。

そんな志村氏の、お子さんへの教育方針をうかがいました。

「親は、子どもが成人になり、学校を卒業して立派に生きていけるようになるために仕事をしているんです。あなたたちが幸せになるために一生懸命働いているんだから、あなたたちがやりたいこと、できる可能性があることは何でもや

りなさい、と言ってきました」

日本は島国だから、若いときに海外を見聞することは必ず人生のプラスになり、財産になるといのが信念。決して、行きなさいとは強要しなかったけれど、海外の話はずいぶんしたそうです。父の思いを受けて娘さんはホームステイなどを経験したそうです。

「日本の若者、とくに男は海外を見よと思っています。それも一人旅がいい。あらかじめインターネットでホテルを予約するんじゃなくて、現地へ行って、言葉のわからないなかで自分で探すことが大事。言葉がわからない、バスに乗るのかタクシーに乗るのか、そういう困ったことに対処する経験が必要だと思います。日本人は一人で行動しないからね。たとえツアーでも、一人で街を歩く時間を作ってほしいと常々思っています」

自分がやりたいと思ったことは誠心誠意努力してやり遂げる。それが志村組織委員長の信念です。時間がない、仕事が忙しい等々、できない理由をあげるのには簡単ですが、何かをやるうと思つたら勇気をもって行動に出る、それがその人を変える大きな一歩となります。

「組織委員長として、何でもいから一歩を踏み出すことができれば、と思います」



社団法人荻窪法人会青年部会

第31回総会と30周年記念式典を吉祥寺の第一ホテルで挙行。

社団法人荻窪法人会青年部会の第31回総会と30周年記念式典が4月20日吉祥寺の第一ホテルで行われました。第31回総会は第1号議案から第5号議案まで無事承認されました。また今年度は役員改選年度にあたり青年部会長が矢澤規充氏から松澤和洋氏にバトンタッチされました。総会終了後の30周年記念式典では水島隆年荻窪法人会会長、中村勝彦荻窪税務署長をはじめ多くの来賓の方々の出席のもと大変盛大に行われました。

議長をつとめる矢澤部会長

舞台に移されました。祝賀会はニューヨークラシック MODENA の皆様の演奏と青年部会では例年「落語を楽しむ会」でお世話になっている古今亭寿輔師匠の話で大いに盛り上がり懇親を深めました。

歴代の部会長に感謝状を贈呈。祝賀会は大いに盛り上がる。

第31回総会は矢澤規充部会長を議長に選出し第1号議案（平成16年度事業報告）、第2号議案（平成16年度決算報告）、第3号議案（平成17年度事業計画案）、第4号議案（平成17年度予算計画案）、第5号議案（任期満了に伴う役員改選の件）まで滞りなく承認されました。第5号議案によって青年部会長が矢澤規充氏から松澤和洋氏に選任されました。また、副部会長に真野大氏、岡博之氏、幹事長に柴田夏航氏が就任しました。

30周年記念式典は水島隆年荻窪法人会会長、中村勝彦荻窪税務署長、山田宏区長、石原伸晃衆議院議員をはじめ東京法人会連合会や近隣の法人会青年部会の方々、そして荻窪法人会の理事など諸先輩のご参会を得て開催されました。水島部会長が青年部会30周年にあたりと題して挨拶。中村署長、山田区長、石原衆議員より祝辞を頂きました。その後歴代の部会長に感謝状が贈呈され記念祝賀会へと



青年部会是真的仲間を作る場

本日はここに荻窪法人会青年部会の30周年式典を開催できる事を皆様方に御礼申し上げます。

昭和50年に設立総会が開かれて以来今年で30周年を迎えたわけですが、設立当初はオイルショック直後という厳しい経済環境の中でしたが49名もの会員が集い発足したと聞いております。

設立時の先輩方はそういった時代背景や会立上げ時の様々なご苦労があったのではないかと思います。また、その後10年、20年そして現在に至るまで多くの立派な先輩方が青年部会と関わり、部会を発展拡大させたのは皆様ご承知の通りです。

青年部会活動は法人会がそうであるように税の知識を得、税務行政に協力していくのが第一義ですが、当青年部会はその止まらず様々な活動を行ってまいりました。

経営に関する講師をお呼びした経営者研修会。

コンピュータ研修を代表するようにその時々合った事柄を扱った勉強会。

青年部会30周年実行委員長 矢澤規充

毎年開催される「落語を楽しむ会」に合わせ行うチャリティー募金といった社会貢献活動。このような活動を通して青年部会はより良い経営者を育ててまいりました。

また、青年部会のもうひとつの特徴として良い仲間作りの場であるということです。

特に当青年部会は単に経営に関するだけでなく様々な事柄で悩みを話し合える真の仲間を作る場であると自負しております。

さて、この素晴らしい青年部会を更に発展させるべく我々部会員は一層の努力をする所存です。親会活動への積極的参加、他の単位会青年部会との交流等様々な活動を通して青年部会を益々魅力的な会にしていきたいと思っております。

税務署及び法人会の皆様そして賛助会員の先輩方には今後とも青年部会を暖かく見守っていただき、より一層のご支援、ご指導をいただければ幸いです。



社団法人荻窪法人会会長 水島隆年

酒を酌み交わしながら議論した懐かしき日々

青年部会の30周年おめでとうございます。心から祝福申し上げます。

日本経済はこの30年間、急激に成長を遂げ、バブル等の崩壊で急ブレーキがかかるなどして翻弄された30年間でした。今は、いくらか落ち着きが見えてきて、将来を思考する時期かと思われ

ます。30年等永きに亘り、若手経営者の育成の場として、育ててくれた青年部会に感謝し、お礼を申し上げたいと思います。また、その間、荻窪税務署の歴代の署長、副署長、第一統括官、指導上席の皆様にご指導をいただき感謝申し上げます。又、酒を酌み交わしながら議論した懐かしき日々を思い出します。

荻窪法人会の青年部会の活動は東法連の中でひとときわ光っております。当部会が30年の永きに亘り発展したことは、部会員がよき伝統を受け継ごうとする意志と青年部会の先輩が温かい目で後輩を指導して下さったおかげです。創部の時から参加した私としては、仲間と侃々諤々と議論して作った会則、す



荻窪税務署長 中村勝彦

まさに法人会の事業活動の中心的存在

社団法人荻窪法人会青年部会の皆様方には、日ごろから税務行政につきまして、深いご理解と多大なるご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

貴青年部会が創立30周年を迎えられたことを、心からお祝い申し上げますとともに、この記念すべき年にその歴史を飾るにふさわしい記念式典や、立派な記念誌を発刊されることに対しまして、深く敬意を表する次第でございます。

貴青年部会は、法人会の組織の拡充と事業の充実化を図ることを目的として、昭和50年2月に設立され、30年の永きに渡り法人会の事業活動を積極的に支援し、法人会の発展に大きく貢献するなど、まさに法人会の事業活動の中心的存在にまで成長されました。

創立以来、矢澤部会長を始めとする歴代の部会長、役員並びに会員の皆様方の並々ならぬご苦労とご努力に対しまして、深甚なる敬意を表するものであり、これからも活力ある事業活動を推進され、将来に向かって大きく発展されますことをご期待申し上げます。

ところで、最近の税務行政を取り巻く環境は、経済のグローバル化、少子高齢化社会が進み人口減少社会に入る中で、貯蓄率の大幅な低下など、経済社会の構造は大幅に変化しており、税務行政も益々複雑困難になってきております。

このような経済社会の変化に的確に対応し、私どもの使命であります「適正・公平な課税の実現」と「信頼される税務行政の確立」に向け、最大限の努力を尽くして参る所存でございます。

とりわけ、昨年来、重点施策として取り組んでおります改正消費税法の円滑な定着や e・Tax の普及推進など、税務行政の円滑な運営を行っていくためには、貴青年部会の皆様方のお力添えが是非とも必要でございます。

今後とも、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。結びにあたり、社団法人荻窪法人会青年部会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝並びにご事業のご繁栄を心から祈念申し上げます。



歴代部会長を代表してあいさつする宇田川副会長

新青年部会長あいさつ



青年部会長 松澤和洋

今後も時代に相応しい事業活動を展開

平成17年4月より青年部会長を務めさせていただいております松澤と申します。

当青年部会は昭和50年2月に創設されて以来、30年余の歴史を持つ伝統のある部会です。青年部会OBの先輩方は現在、地元を代表する企業経営者として活躍され、その多くの方々が親会におかれましても中核として精力的に活動されています。そういった先輩方や関係諸兄のご支援のもと、本年4月にはお蔭さまで部会創設30周年記念式典を挙行することができました。ご協力いただきました皆様には、この場をお借りいたしました改めて厚く御礼申し上げます。

青年部会は現在正会員が53名、48歳以上の賛助会員・名誉会員が31名、合計84名で構成されています。

青年部会は次代を担う青年経営者の育成、更には各事業活動を通じて地域社会に貢献する、ということを念頭において活動しており「税務研修会」や毎年恒例の「落語を楽しむ会」等の勉強会や社会貢献事業を月例会として年間に10回程度開催しています。その他年一回、日本各地で行われる全法連青連協全国大会等へも積極的に参加して他単位会との交流も図っています。

今後も時代に相応しい事業活動を展開するとともに、会員相互の親睦

もより深めていきたいと思っております。今後とも青年部会に対して、法人会の皆様の暖かいご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



古今亭寿輔師匠



MODERAによる演奏



歴代青年部会長と実績

昭和49年：発起人会を開催

昭和50年：設立総会を開催

- 第1期(昭和50年～51年)：黒沢敬彦部長、坂田幸彦副部長
50年度実績：税務研修7回、講演会3回、企業見学1回
51年度実績：税務研修6回、講演会3回、企業見学1回
◎社会：サイゴン陥落 闘う女サッチャー 田中角栄逮捕
- 第2期(昭和52年～53年)：坂田幸彦部長、野村一男副部長
52年度実績：税務研修6回、講演会2回、企業見学1回
53年度実績：税務研修5回、講演会2回、企業見学1回
◎社会：文革終わる 王756号 ピンクレディー旋風
- 第3期(昭和54年～55年)：野村一男部長、荒川格副部長
54年度実績：税務研修6回、講演会3回、企業見学1回
55年度実績：税務研修7回、講演会3回、企業見学1回
◎社会：インベーターブーム 大平首相急逝 山口百恵引退
- 第4期(昭和56年～57年)：荒川格部長、水島隆年副部長
56年度実績：税務研修7回、講演会2回、企業見学2回
57年度実績：税務研修8回、講演会3回、企業見学2回
◎社会：ダイアナ結婚 日航機逆噴射
- 第5期(昭和58年)：岡博文部長、水島隆年副部長
58年度実績：税務研修7回、講演会3回、企業見学1回
◎社会：おしんブーム デイズニールランド開園
- 第6期(昭和59年～60年)：水島隆年部長、住田岑二副部長
59年度実績：税務研修7回、講演会2回、企業見学2回
60年度実績：税務研修8回、講演会3回、企業見学2回
◎社会：グリコ・森永、ロス疑惑 日航ジャンボ墜落
- 第7期(昭和61年～62年)：住田岑二部長、八重幡清忠副部長
61年度実績：税務研修6回、講演会2回、企業見学1回、他1回
62年度実績：税務研修5回、講演会2回、企業見学1回、他3回
◎社会：チェルノブイリ大惨事 大韓機爆破テロ
- 第8期(昭和63年～平成1年)：八重幡清忠部長、高嶋民雄副部長
63年度実績：税務研修6回、講演会2回、企業見学1回、他3回
1年度実績：税務研修8回、講演会2回、企業見学1回、他2回
◎社会：リクルート事件 昭和天皇崩御
- 第9期(平成2年～3年)：高嶋民雄部会長、保坂房雄副部会長、宇田川紀通副部会長
2年度実績：税務研修7回、講演会1回、企業見学1回、他2回
3年度実績：税務研修8回、講演会1回、他4回
◎社会：バブル崩壊 ソ連解体
- 第10期(平成4年～5年)：保坂房雄部会長、宇田川紀通副部会長
4年度実績：税務研修7回、講演会2回、企業見学1回、他4回
5年度実績：税務研修7回、講演会2回、他4回
◎社会：ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争 細川政権成立 皇太子結婚
- 第11期(平成6年)：宇田川紀通部会長、小竹良夫副部会長
6年度実績：税務研修4回、講演会1回、企業見学1回、他2回
◎社会：村山首班内閣 イチロー 210安打
- 第12期(平成7年)：小竹良夫部会長、上田仁士副部会長
7年度実績：税務研修4回、講演会1回、企業見学1回、他2回
◎社会：阪神大震災
- 第13期(平成8年)：上田仁士部会長、柴田豊幸副部会長
8年度実績：税務研修5回、講演会1回、他2回
◎社会：住専破綻 寅さん昇天
- 第14期(平成9年～10年)：柴田豊幸部会長、八方淑夫副部会長
9年度実績：税務研修4回、講演会1回、他2回
10年度実績：税務研修4回、講演会1回、他2回
◎社会：酒鬼薔薇事件 列島大不況
- 第15期(平成11年～12年)：八方淑夫部会長、河又雅之副部会長、大石剛生副部会長
11年度実績：税務研修4回、講演会2回、他1回
12年度実績：税務研修4回、講演会1回、企業見学1回、他3回
◎社会：金融再編 女たちのソニー五輪
- 第16期(平成13年～14年)：河又雅之部会長、大石剛生副部会長、矢澤規充副部会長
13年度実績：税務研修4回、講演会1回、他1回
14年度実績：税務研修4回、講演会1回、他2回
◎社会：米国同時多発テロ 日韓ワールドカップ開催
- 第17期(平成15年～16年)：矢澤規充部会長、真野大副部会長、松澤和洋副部会長
15年度実績：税務研修4回、他3回
16年度実績：税務研修4回、他3回
◎社会：イラク侵攻 アテネ五輪 中越地震
- 第18期(平成17年～)：松澤和洋部会長、真野大副部会長、岡博之副部会長
◎社会：JR福知山線脱線事故 愛知万博開催



新支部長座談会



坂田副会長は141号の広報誌のインタビューのなかで「法人会がこれだけ大きく立派になったとすると、支部活動の充実には力を入れることが重要だと思ったんです。法人会に入る目的のひとつには、やはり、いろいろな人とおつきあいでいいことです。支部といってもわりあい広いですから、普段おつきあいのない方とも話して、いろいろな考え方を何らかの形で取り入れることが大事じゃないかと思います。支部でコミュニケーションがとれて、それが法人会で集まればすばらしいですね」と、また1月の新年会の挨拶でも支部活動の重要性を語っています。

支部活動が法人会の原点

支部長のパワーがそのまま法人会のパワーでもあります。

新支部長をお迎えして、今後の抱負や方針をお聞きしました。

支部単位の研修会や行事を通してそれぞれの地域での理解を深めていく、

出席された支部長の思いは同じですが、それぞれ個性豊かな支部創りを目指します。

積極的に支部活動を進めたい

鹿野修二広報委員長・新支部長の方々をお招きして初めての座談会です。

いろいろないきさつがあつて支部長になられたのだろうと思いますが、支部長になつたいきさつをそれぞれお話ししていただきしたいと思います。

小代勉第3支部長・私は研修委員を長らく務めさせていただきましたが、もう若手にどんどんやつてもらつた方がいいなと思つきました。年齢的にもそろそろ支部長をやつたらどうかと、そういう声がかかり上がつてきました。これは腹を決めなきゃということで、今回お話を受けさせていただきました。

小菅和敏第7支部長・私はマスコミですつと生活していました。私が退任するに当たつて都内で幾つか英語教室を引き受けてくれないかというのが、そもそも地元でビジネスを始めるきっかけです。教育というと大げさな言い方になるんですけど、年をとつて世の中に少しでも貢献できることがないかということで仕事を始めました。その後、お誘いを受け、法人会に参加させていたいただくことに。加入したからには積極的に出席し、いろいろ吸収しようとしていたところ、支部長に推されたんです。

まだ勉強中ですが、地域のお役に立てるなら……ということで引き受けました。

山下民子第23支部長・私は前々期に組織委員を前期が研修委員をやらせていただきました。少し落ちついたかなと思つたときに今回の支部長のお話があつたんです。

前支部長が非常に熱心に活動をやつてくださったので、若手にそのまま引き継いでいただければ一番いいし、私としては若い方たちの応援をするつもりでしたが、一遍にじゃなくてワンクッション入つてくれというお話がありました。

支部長というのは、一番働かなきゃいけないところ。そこに一番働ける人たちが来てほしい。組織、研修とやつていたときの気持ちがそういうところになりましたので、その橋渡しをすることならお引き受けしようということでお引き受けしました。

また、女性という立場からすると、もつともつと大勢の方が実際の法人会の活動に参加してもらえないような形がとれないかなという、夢のようなことを考えております。

兩宮正武第18支部長・私は、うちの父が前から法人会に入つていて、加入して10数年たちますが、その間に、社会貢献活動事業委員会の委員とか、今回、支部長になる前は18支部の会計をやつ



小代 勉 第3支部長



小菅和敏 第7支部長



上田仁士 第9支部長



雨宮正武 第18支部長



山下民子 第23支部長

新支部長 座談会出席者 (敬称略)

第3支部長	小代 勉	小代工業 (株)
第7支部長	小菅和敏	(有) フェニックスターナショナル
第9支部長	上田仁士	(株) 上田技術産業社
第18支部長	雨宮正武	(有) 雨宮総合企画
第23支部長	山下民子	八千代興業 (株)
広報委員長	鹿野修二	ADLIVE (株)
広報副委員長	矢澤規充	(有) 春日園

ていまして、前支部長が、せひ次をやりなさいということ。

私はいつまでたっても若手のつもりでいて、しかし、うちの父も18支部長をやっていたので、自分では若いつもりでもそんな年齢に達してきたのかな。

これだけ長い間、法人会に加入させていたでいて、自分の仕事だけじゃなくて、法人会を通して少しでも世の中に貢献できるようなことがあればいいなど。あと、組織の仲間をふやすということでも、もっとやろうかなということでも引き受けました。

上田仁士第9支部長…実は、9支部の支部長を長くやっておられた方が、病気になるれたものですから、突然支部総会をやるといので、支部長を新たに決めなきゃいけないと。そうしたら上田さんがいいですというぐあいに終わっちゃったんです。

9支部は、西荻窪駅の北側の商店街なんです。法人会の会員を勧誘して組織率を上げるというのは、間違っていると云ったら怒られるんですけど、勧誘して人数だけ集めてメンテナンスしてないんですよ。こんなにおもしろいことがあるから一緒にやろうとか、会員さんのためにこうしてあげなきゃ、こうしてほしいよ、じゃこうやろうよという話をも聞いたことがないです。

9支部で何をしようかといったときに、商店会が多いものですから商店会の会員でもあるし、法人会の支部の会員でもある。だから、どっちへ行っても集まる人間はいつも一緒。

何とか商店会と一緒にできることがないだろうかということ、いろいろ去年ぐらいから始めています。

2ブロックの6支部と8支部では、今年の夏、水打ち大会というのをやるんです。

それで9支部でも何かやろうと。9支部だけじゃなくて、西荻の駅の周辺が何かできるだろうと。そういうことが、私にとつての支部の活性化なのかなというふうに思っているんですね。

この支部にいと、商店会だつてこういうおもしろいことをやっているよ、楽しいよとか。勉強になるよでもいいんですけど、何かそういうことで行つてよかったです、それで商売になれば自然と会員さんつて集まってくるんじゃないか、というのが今年の目標でやっているところです。

地域と法人会の在り方

鹿野・山下さんが、前回の座談会るときに、地域と法人会のあり方という話をされました。

だんだん町会とかが弱くなってきているので、そこを法人会でカバーできないかという、今の上田さんと同じようなお話を。

山下…ダブっているんですけど、上田さんのほうは商店街で、私どもは完璧な住宅街の地域なものですから。気持ちは一緒、ただ畑が違う。

今、宮前地区でも、町内会が存続しているのは、たしか宮前1丁目から5丁目のうちの3丁目だけかな。あとは町内会がなくなっているんですよ。そういう意味でも、地域のリーダーとしての法人がどうするかということを考えています。

小代…うちの支部は井萩駅の商店街の会員さんが多いんですが、実際はおやじさんが仕切っているだけども、動いているのは息子さんがほとんど。実際、私もそうなんですが、若手会員ふやしましようという話をして、結局は、息子は仕事が忙しいからという理由でほとんど断られていたというのが実情なので、それだったら、自分が支部長になって、私がやっているんだから息子さんを出してください、というような流れに持っていきたいというのが一つの目標なんです。

今、商店街の所有している商店街事務所を年に4〜5回の支部役員会に使用

わせていただいているので、若い人をふやしなから商店街の皆さんともかかわりを、これから考えていかなきゃいけないと、今お話を聞いた段階で思いました。

小菅…私のところは7支部で組織率がものすごく高く98%ぐらい。

企業数は少なくても組織率をそこまで高めるのは、前任者達はすごい努力をしたんだと思いますね。

今後はこの状況を生かし、会員間の交流を増し、少しでも活性化できればと願っているんですが……。

地域性として、会員は商店街だけではなく住宅地にもいるので、自ら事業形態が異なり、共通の関心事を模索していくのがなかなかむずかしいです。

でも長い間法人会活動をなさっている人達が多いので、研修会のテーマなどがタイムリーで関心を引くものであれば、少しは変化が起こってくるのではないかと期待しているんですが……。「そして1人でも2人でも出席して良かったと思う人が増えてくれればいいんですけどね。

雨宮…私は生まれも西荻ですし、学校も、西荻から、荻窪のほうにも行ったりしたので、今でも街を歩いていると、あーいさつする方は非常に多いので、また、うちの父が西荻に出てきてから私のところのことを知っているの、そういう

意味では、地域から出ているという感じはあるんです。

法人会の活動は今まではあんまりしていなかったんですけど、名刺もつくってもらったことだし、これからもっと積極的にしていきたいなと。(笑) 仲間をふやすというか。新しく支部長になったので、これは何かやらないといけないと思っているところです。

出てよかったと言われる研修会を

鹿野…実は、新しい支部長に座談会をお願いしたのは、坂田副会長のインタビューで支部活動が法人会の原点で、そこをおろそかにしないで大切にしてほしい、しっかり頑張ってほしいと。あと、支部単位で研修会を開くなど支部活動が活発になっている。

そのあたりのお話をお聞きするとおもしろい座談会になると思いました。

矢澤規充広報副委員長…山下さんは研修委員をやられて、支部の研修費が生まれた経緯とか、それをどういうふうにするのか使われるのかそのあたりどう考えていらっしやいますか。

山下…八方委員長が最初に、支部活動を基本にしましょうということを持ち出されたので、それはいいことですねとなったものです。

支部で研修会を開催した際には、本部から助成するというスタイルで、この4〜5年やっています。それによって、会合はやりやすくなくなったんじゃないかなと思っています。

それをどう活動に直接結びつけてくださるかは、支部長さんの腕次第だと思っておりますけど、実際支部長になると大変だなあと。(笑)。見た目と反対のことをするのは、そういうものだなと思っております。

小菅…支部でいろんな会合をやりまして。役員会と研修会とか、そんなとき出席者が決まってしまうように感じるんですよ。新しい人がなかなか入ってこない、他の支部ではどんな状況ですか。何かいい方法ありますか。

上田…私どものり支部で大体出てきていただけなのは10名前後。ほとんどが





役員さん。

なかなかお会いしてお話する機会がないので、今度こういうのがあるのでぜひ出てくださいますよと言って、1人ずつふやしていくよりしようがない。それも、やっぱり10人とか12〜13人で、いつもそのぐらいの感じですけどね。

支部の中にそれだけの人数でできる場所がほとんどないですね。ですから、10人から、せいぜい20人ぐらいまでやる分には何とかなるかなと。

鹿野：場所の問題というのはブロックの場合もそうですね。割と問題になりやすい。

上田：入れる場所を探していくと、小料理屋さんとか食べ物屋さん。必ず食事を頼まなきゃいけないですね。

研修会費で幾らかいたただいたって全部持ち出しになってしまう。5000円の会費じゃあ皆さんおいでいただけなので、何とか安い会費でできるところを

探さなきゃいけないですね。それが一番大変なんじゃないでしょうかね。

鹿野：その辺をうまく探さないと、話がブロックに戻ってしまいますものね。

せっかく支部単位で研修をとという話が機能しなくなる。

山下：私どもの支部では、西高（東京都立西高等学校）に西高会館というスペースがあります、それをお借りして研修会をやっていますから、そういう意味では、小学校だってあちこちあるんですから、そういうのを開放してください

のような話をしてもいいかも知れませんが。とにかく、食べなきゃいけない、飲まなきゃいけないということではないはずだと思っただけですね（笑）。

鹿野：純粋な勉強会をしようと思っただけに、決まった10人が来るんじゃないかと、もう少し不特定多数の方に来ていただいて研修会を開くとか。

小代：今、1ブロックだと区民センタ

ーを利用して。一時期、お酒を出すところではやっちゃいけませんという、6〜7年前ぐらいですか、研修委員をやっているときそんな話があって、そこで仕出しをとって立食でというような形態を1ブロックはとっています。

小菅：桃井4丁目に勤福会館（勤労福祉会館・西荻地域区民センター併設）というのがあるんですが、あそこは使用料も安く、夜まで使用できる。会議室も大小いろいろあり、和室や茶室もある。場所的には恵まれていると思うんですけど、それ以前に1人でも多くの人が参加してもらえないか、企画の方に頭を使わなければならぬですね。

前にも話が出ましたが、研修会や役員会などでも（出てくる人は）決まっちゃうわけですよ。それで声をかけたりしながら1人でも2人でも……。ただ、そういう方法で出席したとしても一回こっきりになってしまうんですね。やっぱり心に残るようなものが得られ、次回も！との気持ちになってくれれば最高なんですけれど。

ほかのところでもいいアイデアがあれば参考にしたいと思います。

鹿野：例えば勉強会をするときに、情報が行き交わないというんですか。荻窪管内で商工会議所の経営大賞の優秀賞を受けている会社がある。

そういう会社の話を聞くことがあってもいいかなと思っっています。そういう情報が意外と人ってこないということはないですか。

上田：あんまり入ってこないですね。逆を言うと、そういう人はあんまり話したくないのかもしれないけど（笑）。

私の支部は駅前の商店街ばかりなので、法人会として研修なりに集まると、大体夕方6時から8時とかが設定時間なんですけども、9時半から11時半とかなら大丈夫だよと言われると、ちよつとそれは勘弁してほしいとなっちゃうんですね。自分が地元に住んでいればいいんですけど、僕なんか、会社は西荻にありますけど自宅はずっと遠いものだから。

とにかく時間の問題というのは支部長になってわかりましたね。

小菅：いろいろ問題がありますね。すごく特殊な例みたいになります。業種によつては主に早朝が仕事の時間帯で夜はもうねる時間、夜の会合には出られないというのもありました。声をかけて初めてわかったことですけどね。

理想をいえばいろいろあるんですけど、変化を求めるとすれば人が変わったときだと思っただけで、従来の良いことを残しながら少しでも新鮮味を出していきたいと思っっています。

鹿野：ブロックの研修会なんかも全く同じですよ。

小菅：そうですね。自発的にでも(参加)を呼びかけられてもいいですが、研修会などに1回でも出席することによって良かったという実感を持ってもらうことがいいですね。

鹿野：やっぱりおもしろくなければという最初の話ですね。

小菅：結局はそれにつながりますね。面白さって人それぞれの感じ方があると思うんですけど、いい情報が聞けたとかいい出会いが出来たとか、いいヒントが得られたとか、そういう場になればいいと思うんです。

支部で差のある会員増強運動

鹿野：話は変わりますが、勸奨活動、会員増強がそろそろ始まります。増強そのものは10月からです。

山下：分母減らしという言い方は……確認ですよ(笑)。企業があるかどうかの確認作業ということですね。

鹿野：会員増強は一番難しいというか、実際にやらなくちゃいけない。恐らく退会される会社は200ぐらい、入ってくる会社もそのくらい。毎年400前後は入れかわっている。黙っていると当然200減っていくことになる。法人

会としては、特に支部長の方に頑張っていただかないと維持できていかないということがあると思うんです。

小代：一番難しいところですね。結局、会員増強は動く人が毎回同じ。同じところを同じ人が毎回回っている。これは変えていかなきゃならないんじゃないかな。じゃあ何か方法を考えて……、これからの課題なんじゃないけれども、とにかくいつも汗をかく人が同じじゃない。その辺ですよ。

小菅：私のところは、先ほど言ったように現場では組織率がかなりいいですよ。ですけど(E・the Park 荻窪)が日産跡にできましたよね。あそこには、1000世帯くらいかな、すごく多くの人が入ると思うんです。

今はやりの職住一体でそこに会社を登記する人がかなりいた場合、加入の呼びかけは非常に難しい。こういうところはセキユリテイの良さが売りになっているぐらいなので、面談がしにくい。

会員増強の話になるとそれをどう克服するかという話になりますね。

組織委員ともども大変です。

山下：難しいですよ、マンションの会社っていつの。

上田：確かにマンションはセキユリテイが厳しいんですね。そこへ行っても、そこに登記してあるけど実際は都心で仕



事をされているとか、昼間はおられないとか、奥さんしかおられないでわからないとか、そういうパターンが非常に多いですよ。これはどうしようもないですね。

小菅：現実そういう状況をふまえて考えるしかない。

厳しいですけどね。

雨宮：私自身はあんまり言われていないので。先輩たちがたくさんいるものから。私自身が今度は積極的に動かなきゃいけないと思っているところなんです。どちらかというと、西荻の南のところは、第4ブロックの18、19、20って、支部が私の先輩たちが仲がよくて。

山下：3支部一緒に動くんですよ(笑)。支部総会から全部、3支部一緒だから特殊な区域でした。

小菅：でも、いい伝統でいいですね。

上田：元気な人が多いものね(笑)。

山下：組織率が、50%から70%台へ動

いてきているので、積極的な活動をなさってきています。

雨宮：そうですね。組織の活動もそこら辺で動きました。だから、支部として何かをやるということも必要だな。

山下：多分、各支部、法人数としては100〜200近くあるはずですから、3支部にしますと500法人。これが一遍に動くというのは結構きつんじゃないかなというのが。数字的な意味でのことですけどね。

上田：500っていうのは、ねえ。10倍ぐらいになっちゃいますね(笑)。

山下：7支部は特に小さいですよ。小菅：諸事情で地域を分けたため、小さくなったと聞いております。

小さいからといって必ずしも組織率を上げやすいわけでもなく、今後は維持することを先程のE・the Park 荻窪のこともあるので、会員増強の課題は大変です。

上田：私は、支部長になる前から、会



員増強を組織委員会の方が皆さん一生懸命やる、すごいなと思ったんですよ。でも私は嫌だと思いましたがね、正直なところ。だから組織率ということあんまり第一命題に上げてほしくないんですよ。組織率が高いのはいいです。1000社あって、そのうち80社入りましたよ。じゃあ研修会に何人出てくるんですか。5人ですよ、10人ですよ。何のための組織率なんだ。

研修委員会の方々もそれをご存じだから、どうやったらふえていくだろうかって、そういう意味ではいろいろやっていただいていると思う。それにもかかわ

らず出てきていただけないというのは、やっぱり自分の支部で考えるところか足らないんじゃないかと。何をしたらいいんだろうかというのがわかるとね。

鹿野：上田さんが一番最初に言った、お祭りのような……。

上田：「ハロー西荻」というのは、先月末（5月28日・29日）にあったんですけど、それは西荻地区でやるということだったので、法人会の会員の方は商店会の中にいっぱいいらっしやるわけですね。我々もそれに何か参加できないかと考えたんです。

どうしようっていろいろ役員で話したんですね。じゃ、まず寄附しようよ。（笑）

山下：それも一つ。

上田：本来は、商店会主催だから、我々が出張ってどうのこうのすることはできないんですけども、お手伝いは何かできるだろうと。法人会のり支部ってうちのところかい、ということもわかってもらえば、少しずつでも開けていけば、次の支部長がやりやすいんじゃないかと。鹿野：ホームページ用に原稿を送ってもらうことだつて情報の交換になるし、そこから見てもらって行く人もいるかもしれない。そういう一つ一つ細かいことの積み重ねが必要ですね。

小菅：そうですね。

結局これだという秘策はないと思う

んですよ。

ですから試行錯誤をくり返す中で新しいものが生まれてくる。先人達がきつとそうであったように、常に新たな発想でチャレンジですね。

震災時の企業の役割

鹿野：今日、うちの町会で、震災があったときにどこに逃げますかというアンケートがありました。都心だと企業がいろいろ備蓄をして、震災があったときに、買い物にきている人とか、帰れない人のためにそういうものを提供するというような話があります。

地域の中で企業はどうあるべきかというの、今だけの話じゃなくて、何かあったときに何ができるか。そういうことを地域の人に知らせることによってこれは一種の社会貢献になるのかな。コミユニケーションの一つなのかなと。

上田：うちのり支部の中に桃井第三小学校があるんですけど、そこで、PTAというか、おやじの会みたいなのがあって、防災訓練みたいなのをやるわけです。「こういうことをやるの」と言ったら、1泊でやったりとか、子供を集めて。起震車が来たり。みんな集まってもらつて、消防署なり、警察なり、東京ガスなり、東京電力なりが、こういう

ことですよ、こういうふうになっているからここは安心できますよ、そういうことをアナウンスする場でもあると思うんですよ。

法人会がそこにかかわっていくというのもあるし、あとハザードマップをつくらうよと。支部の中でもいいし、プロックでもいいし、一番知りたいのは何かといたら、あそこへ行ったら危ないぞというのを知りたいわけですよ。桃三の中に備蓄倉庫があって、「上田さん、あそこどのぐらい備蓄の乾パンがあるか知っていますか」と言うから、「そうだな、これだけの地域だから2000や3000」と言ったら、80人分だということなんです。

山下：えっ、ほんとに。

上田：区役所から西荻北まで、大災害があったときにどのぐらいで来られるか。「1時間もかからないかな」。「うそだろう。道路はみんなだめになっていて、1日以上かかるんじゃないの」と。そうすると、我々は生き残るためにどうするか。

杉並区から資料をある程度出してもらいながら、地域でさらに精査していったら、少なくとも我々だけ生き残ろうと、それぞれがやっていただければ、みんなが生き残れるわけですから。そういうことは今後必要なんじゃないかなとは思

っているんですね。

小代…第3支部は、上萩駅前商店街小千谷市と深いかわりを持っておりまして、中越地震のときに、寄附を第3支部としてお渡しした経緯があるんですけれども。商店街という形でお役に立てればということで前支部長が決断したんですけれども、そういうことも一つなのかなと。

小菅…今、これといったアイデアはないんですけど、地元の日産跡地に広大な防災公園が出来たんですが、どのような機能を備えているのか、食糧の備蓄があるのかなのか、全く知りません。さっそく調べてみたいといけませんね。

地元に住んでいる人も大きい公園が出来たという位で全然わからないのではないのでしょうか。何といっても名前も防災公園ですからね。

情報交換をして欲しい

鹿野…今日のお話を聞いてみると、研修会の場所の問題とか費用の問題とか出てきましたが、ほかに何か、こういうことをこれから望みたいとか、お願いしたいことがあれば。

小代…支部長だけが知っている、役員の方だけが知っているというんじゃないかと、いろんな情報を聞いて、またその支

部長が各会員さんいろいろな話ができるような、情報を交換できるようなことを望みたい。何分、支部長からお話しただけのも限られている。いついつ研修があります、いつ増強があります。そうじゃなくて、いろんな情報をいただいて、それを支部の会員の皆さんに伝えていけたらなと思います。

小菅…支部という組織の中で、会員相互が質の高い情報を共有することが、いかに大切かということだと思います。

さきほど、「会員増強を支部間で連携して行うこともある」と言った話がありましたけれどもいいですね。

時には研修会のテーマなどを事前に近隣の支部にも知らせ、参加してもらったりするのも、活動の中を広げる方法として考えられるかも知れませんね。

鹿野…特に、先ほどおっしゃった日産跡地の、企業がどのくらい来るかは別にしても、組織の問題もそうですね。

小菅…そうなんですね。あまり特殊な地域とは思いたくないんですが、現状をふまえた上で、一歩踏みだしたいですね。

一歩踏みだすことによって、活性化に繋がって行くと思うんです。

山下…さっきの地域の防災に当たって、女性の立場からすると、例えば、まだ小さい子供たちを抱えている女性というの、非常に危険に対して敏感に思

っていますからね。今、地域という活動が希薄になっているときに、どうしようって声をかけると、大抵のお母さんたちは、食らいついてくるという表現はおかしいけど、食いついちゃいますよ。だけど、法人会とそれってどうやって結びつけられるか。法人会という組織のためにお役に立ちたいという思いと現実とをうまくコーディネートできない。

鹿野…でも、またまた始まったばかりで1カ月ですから。これから2年あります。

上田…歴代の支部長さんが綿々というやうな事柄は、すばらしいと思う、本当に。いやあ、大変な仕事ですよ、支部長って。

僕はやめたいという気持ちはあるんですけど、ただやめるんじゃないかと、自分が思った先ほどの、商店会とか地域の何となく連携をつけて、次の人が動きやすいようにしてやめたいなとは思っているんですよ。

矢澤…皆さんのお話を聞いていて、まさに法人会が支部が要というか、基礎だというのがよくわかりました。だんだんそういう風潮にはなっていると思っています。

例えば、研修会も支部単位の研修会をやって。例えば広報ならば、先ほど皆様方のアイデアや事例を募って、広報が紹介するとか、先ほど言っていた社会貢



献に近い地震対策だとか、そういう、もつと各委員会が積極的に支部を支えるような活動をしていければいいと思いますし、逆に支部長の皆様方がそういうのでどんどん刺激を与えてくれれば、よりよくなって行くんじゃないかなと思うように思いますけどね。

山下…例えば、研修会を各支部でなさるとしたら、支部長は招待していただいてもいいかもわからない。結局、自分の支部しか見ていませんからね。ですから、そんなものだと思っていることがかなりありますよ。

上田…確かに、支部同士の横のつながりというものはありませんね。プロックの中で支部長が集まってというのはありますが、全体として見てこういう特徴があることをやっておられるんだなというのを経験することがないですかな。

鹿野…今日はお忙しいところありがとうございました。

本音の話が聞けたと思います。

7月は署の異動の時期にあたります。

1年間で異動される方、2年間で異動される方と期間はまちまちですが、荻窪法人会においては秋の特別研修会をはじめ、役員会、ブロック研修会、各委員会、各部会で大変お世話になりました。

着任された柿沼節夫荻窪税務署長をはじめ齊籐 哲副署長、山口和久法人課税第1統括官には今後多くの研修会で講師をお願いする事になると思います。

ご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



荻窪税務署長
柿沼節夫

東法連の中でも連年会員の純増を成し遂げている数少ない法人会

残暑の候、社団法人荻窪法人会の皆様方には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素から税務行政の円滑な運営につきまして、深いご理解と多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私は、このたびの人事異動により、東京国税不服審判所審判官から荻窪税務署長を拝命しました柿沼でございます。

前任の中村署長同様よろしく願いいたします。

社団法人荻窪法人会は、昭和25年の創立以来、地域に密着した支部・ブロック研修会や各部会の活動をはじめとした活発な事業を展開され、税知識の普及と納税意識の高揚を図るとともに、社会貢献事業など地域社会の発展にも多大な貢献をされていると伺っております。

特に組織の拡大には力を注がれてお

り、東法連の中でも連年会員の純増を成し遂げている数少ない法人会であり、水島会長をはじめ役員、会員の皆様のご尽力の賜物と改めて深く敬意を表する次第でございます。

さて、税務行政を取り巻く環境は、経済のグローバル化、高度情報化などに加え、少子高齢化社会の到来と大きく変化しており、国の財政に関わる税制のあり方が議論される中、国民の皆様への税に対する関心は、ますます高まってきております。

税務行政に携わるものとして、私は「適正・公平な課税の実現」と「信頼される税務行政の確立」並びに「納税者サービスの向上」を目指していく所存でございますので、法人会の皆様におかれましても、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年度より導入が開始されました国税電子申告・納税システム（e・Tax）の普及・定着のため、法人会会員の皆様にe・Taxの導入をご検討していただきますようお願い申し上げます。

終わりになりましたが、社団法人荻窪法人会の益々のご発展と会員の皆様方のご健康、ご事業のご繁栄を心から祈念申し上げます。着任の挨拶とさせていただきます。



法人課税第1統括官
山口和久



法人担当副署長
齊籐 哲

着任のご紹介



文● 木山濃美 (寄稿)

支部長訪問

第4支部長 木山濃美

地場の方々と交流を深めることが先決

弊社は、保安機材・販売・リースを上井草2丁目の地と茨城営業所つくばで40年近く営業させていただいております。建築会社・土木工事を得意先とする会社です。

工事をする為の保安・安全を確保するための商品販売・製作・リースを主な業務となります。

今回で2期目の第4支部（井草4・5丁目、上井草2・3丁目）の支部長の役を受けることになりました。

役を受けることによって第1ブロッケ長五十嵐さん、また他の支部長さんとも本音で話すことができ、また飾り気のない話ができ肩もこらずその人となりを学ぶことが多いです。

新入会員も私が役を受けてから20社以上入会して頂くことが出来ました。でも、その方々が入会して頂いただけで法人会の活動に参加できず、また交流の場がないと何年々後に法人会を退会することになってしまうのではないかと

心配しているところです。

今後は何らかの形で自由に参加できる支部の会を計画していきますので、是非気軽な気持ちでご参加ください。

法人会に入会して頂いたのですから地場の方々と交流を深めることが先決かと思えます。

法人会28支部の1つかも知れませんが、その1つでも地場の方々と交流を深めることによってより強い結びつきが出来る手助けになれることを自分でも願っています。



文 ● 佐藤熊男 (寄稿)

支部長訪問

第13支部長 佐藤熊男

「新・会社法施行前夜…前向きで！」

長らく信託銀行で不動産鑑定評価の仕事をしてきましたが、そのまま、不動産鑑定士の資格を活かし独立開業致しました。その後、法人なりとし、株式会社不動産鑑定佐藤研究所としましたところ、郵便ポストに空色の封書

がたびたび投函されており、荻窪法人会のリーフレットやPR紙が種々入っています。当時、これらは他にも多いチラシ類と共に右から左へと机下のちり籠へと流れていっておりました。暫くして、かねてお付き合い頂いておりました宇田川副会長から荻窪法人会加入のお誘いを受け、初めて法人会の存在(意義)を知り、あの空色の封書が記憶の中で蘇った次第でした。

法人会会員では当たり前の法人会が、個人企業や大手企業の支店ではあまり意識されない存在であるというのも過言でなく、今後は大いにPRし、未加入会員へも更にアプローチする必要を感じております。第13支部の地域は主として住宅街で、小規模法人が多

くインタフオーン外交であり、直接、経営者にお目にかかる機会が少ないのですが、私自身の当初の経過を思い起こしながら組織拡充に前向きに取り組んでいきたいと思っております。

折から、6月29日に商法が改正され新・会社法が成立しました。(平成18年春施行見込み) 今後は有限会社法が廃止され、又、株式会社の諸条件が大幅に緩和されました。例えば、資本金1円以上が今迄ですと5年以内に1,000万円以上に増額する必要がありました。今後は恒久化され1円でいいことになりました。

これからは個人企業でも法人化する機会が増大し多くの新規法人が生まれることが見込まれます。法人会でも他の組織に先駆け、個人企業対象に「新会社法成立・法人設立のメリット」等手続き・税制等の両面からの説明会開催が考えられます。荻窪法人会の更なる発展を期待し、微力ながら引き続き努力してまいります。

敬白

インターネットの利用法

【検索はどうするの】

Eメール、デジカメの画像保存、画像添付といろいろと足早に進んできましたが、また元に戻りまして、今回はインターネットでの情報の「検索」についてお話してみたいと思います。インターネットでの検索が出来ると、知りたい情報を簡単に探し出すことができます。それではインターネットの世界にもう一歩足を踏み入れましょう。マイクロソフト・ウインドウズパソコンを基本に進めます。以前と同様、景子さんと、広報委員会ホームページ小委員会の上田がご案内いたします。



「情報は何処に」

インターネットと言うと瞬時に情報が飛び交い、何でも分かれると思いが、実はどこかに電子的に記録して公開していないと、やっぱり見ることが出来ないのです。また、電子的に記録してあっても、非公開すなわち誰でも見られるような状態ではない物は当然ながら違法なことをしない限り情報として出てきません。では何故インターネットが情報入手に便利に使われるのでしょうか。ここにデジタルと言う秘密があります。

景子さん「何か調べたいって言うんだけど、分かったの。」

上田「それが調べるには調べたんですが。」

景子さん「思った答えが無かった。」

上田「そうなんです。」

景子さん「何を調べたいの。」

上田「子供にハンバーグを作ってあげたいと思っていて、作り方を調べていたんです。」

景子さん「それはお料理の本を見ればいいんじゃないの。」

上田「何かみんな難しそうで、もっと簡単なやつがないかと思って。」

景子さん「私にも出来るぐらい簡単よ。」

上田「やっぱりおいしい方がいいと思つて。」

景子さん「私のじゃまずいと言っわけね。」

上田「そんな……食べたことありませんし。」

景子さん「絶対食べさせてあげない。」

上田「それより、どうしたらいいんでしょうか。」

景子さん「ネットで調べてみたら。」

上田「そうか、インターネットで調べる手があった。」

景子さん「あんなにパソコン、パソコンと言つてたくせに。」

上田「すいません。」

景子さん「どうやって調べられるか分かる?」

上田「インターネットにつなぐ訳ですから、まずパソコンを起動させて。」

景子さん「それから?」

上田「I E (インターネット・エクスプローラー) をダブルクリックして起動させます。」

景子さん「よし、よし。」

上田「さてどこからなんです?」

景子さん「早くやりなさいよ。」

上田「調べる場所はどこなんだろう。」

景子さん「パソコンが泣いてるわね。」

上田「そうおっしゃらず教えてくださいよ。」

景子さん「じゃヒント。パソコンでものを調べる時『検索』ってよく言うわよね。」

上田「あっそうか。『検索』の文字のあるところを探してみればいいのかな。」

景子さん「どこかにある?」

上田「I Eの上の真ん中に『検索』があった。」

景子さん「一歩前進ね。」

上田「この『検索』をクリックすればいいのかな。」

景子さん「まずは試してみることね。」

上田「おおう、左側にMSNサーチの検索する窓が出てきた。」

景子さん「その窓の中に調べたい事柄や、言葉を記入して『ウェブ検索』をクリックすればいいのよ。」

上田「それでは『ハンバーグ』と入れて、クリックと。」

景子さん「検索結果が出てきたですよ。」

上田「本当だ。この中から良さそうなものを選びたいんだ。」

「検索ツール」

なぜインターネット上で『検索』が出来るかというと、検索を提供

している会社がそれぞれの会社が持っている「検索エンジン」を使ってインターネット上で公開されているホームページ等をすべて見てまわり、自社のコンピュータに情報を蓄積・保存してあります。

このサイトにアクセスし、その蓄積・保存された情報を自分が探している事柄や言葉をキーワードにして検索を掛け、該当するホームページの探しているページを表示させたり、一覧表示で近いものを自分で選ぶようになっていきます。

今回は「E」に標準で備え付けられている「検索」を使用しましたが、いろいろな検索ツールがありますので、少し紹介してみたいと思います。

Google (グーグル)
Yahoo! (ヤフー)
Excite (エキサイト)
Infoseek (インフォシーク)
goo (グー)
等々いろいろあります。

今回は例にあげた検索サイトのURL (ユーアルル) を特に表示しませんでした。

ご自分で先ほどの「ハンバーグ」の代わりに「Google」等入れて、検索サイトを検索してみてください。自分が気に入った検索サイトを「自

分の「お気に入り」に登録しておいてもいいですし、サイトによっては「Eの「ツールバー」にインストールソフトをダウンロードして、常時検索が可能になる「検索ツールバー」を設定しても良いと思います。

「URL (ユーアルル) = Uniform Resource Location」

先ほど出てきました「URL」につきまして、少し説明しておきましょう。「URL」とはインターネット上にある文書や画像などの場所を示す「住所」と思ってください。

例えば、荻窪法人会ホームページにある目次で、「会報」をクリックしてみますと、そのURLはhttp://www.ogikubohojinkai.jp/kaiho/kaiho_top.html となっています。

それではこのURLとはどんな意味があるのか探ってみましょう。

http://

情報の入手方法で、多くの場合は通信に使用するプロトコルを表します。

通常のWebアクセスに使われる「http」や暗号化された「https」等があります。

www.ogikubohojinkai.jp

Webサーバのドメイン名です。

www はサーバ名 (ホスト名) を、ogikubohojinkai は組織名を、jp

は日本を表します。

/kaiho/kaiho_top.html

Webサーバの中でのファイルの位置を表します。

この場合は、荻窪法人会ホームページの「会報」フォルダの中にある「会報トップページ」を表します。

「検索の簡単テクニック」

検索窓に検索したい事柄を入れ検索をかければ良いのですが、よく使う言葉をいれますと検索されて出てくるデータが数百万件にもなることがあります。自分が本当に探したい、あるいは知りたい「事」「物」をどのようにすればピンポイントで表示させることができるでしょうか。

検索サイトの「Google」を使ってみました。

上田「さっきの『ハンバーグ』の検索結果は確かにハンバーグだったけど、あんなに沢山出てきちゃうとこれにいいかわかんないですよね。」

景子さん「そうね。『ハンバーグ』だからね。」

上田「そんな。どうすればいいんですか。」

景子さん「検索ってさ、何をどんなイメージで探すかが大事なのよ。」

上田「イメージですか。」

景子さん「例えばハンバーグでも和風とか、煮込みとかいろいろあるじゃない。」

上田「いいですねそれ。『和風ハンバーグ』を入れてみます。」

景子さん「どう。それでも検索結果が十分のぐらには少なくなったかな。」

上田「と言っても二万件以上もありますね。」

景子さん「自分が何が知りたいかイメージして、具体的にキーワードを選ぶことね。」

上田「なるほど。具体的に。『おいしい和風ハンバーグ』がいいな。」

景子さん「良かったわね。十件に絞られたじゃない。」

上田「結構キーワードがものを言うんですね。」

景子さん「生意気言っんじゃないわよ。」

簡単検索の仕方をまとめて見ましよう。

【1】キーワードが重要

キーワードをどのように選ぶか同じ意味の言葉でも検索結果は異なります。例えば「映画」「シネマ」「ムービー」自分が知りたいイメージを言

葉に置き換える

【2】絞り込み

検索結果をさらに絞り込む

キーワードを追加する

例えば「ハンバーグ和風レシピ」キーワードを追加するには前の言葉のあとに「スペース」を入れて記入

もっと詳しく知りたい方は、「Google」のサイトを見てください。

「検索オプション」がありますので、クリックしてみてください。

とうとうこの連載も最後になってしまいました。苦しみながらも何とかパソコンを少しずつ扱えるようになっていただけでしたら、うれしい限りです。本当は、読んでいただいている皆さんに苦しまずにパソコンを使ってもらえるよう書きたかったのですが、力足らずで大変申し訳ございませんでした。最初の頃にも言いましたように「習うより慣れる」が上達の早道です。また、近くにパソコンのことを良く知っている方がおられましたら、どんどん教えてもらってください。とにかくパソコンに「触りつつけること」「諦めないこと」の二言を皆様にお送りして、ご愛読に感謝しつつお別れの御挨拶とさせていただきます。

長い間本当に有難うございました。

平成17年分の路線価図等の閲覧について

閲覧は国税庁ホームページが便利です!!

- 平成17年分の路線価及び評価倍率の公表日は、平成17年8月1日(月)です。
- 路線価図等は、上記の日に**国税庁ホームページ**【<http://www.nta.go.jp>】に掲載される予定ですので、ご利用ください。
- 国税庁ホームページの路線価図等閲覧コーナーでは、全国の過去3年分の路線価図等をご覧になれます。
- 東京国税局管内の各税務署には、次の区分で路線価図等(冊子)が設置されます。
- 国税局・税務署での路線価図等の閲覧はどなたでもできますが、混雑時はお待ちいただく場合があります。

【東京国税局管内(千葉県、東京都、神奈川県、山梨県)各税務署の平成17年分の路線価図等の設置予定】

区分		全国の路線価図等を設置する税務署	東京国税局管内の路線価図等のみを設置する税務署
千葉県		千葉東 市川 松戸	千葉南 千葉西 銚子 船橋 館山 木更津 佐原 茂原 東金 柏
東京都	都区内	神田 京橋 芝 品川 新宿 東京 上野 目黒 世田谷 渋谷 豊島 足立 葛飾	麹町 日本橋 麻布 四谷 小石川 本郷 浅草 本所 向島 江東西 江東東 荏原 大森 雪谷 蒲田 北沢 玉川 中野 杉並 荻窪 王子 荒川 板橋 練馬東 練馬西 西新井 江戸川北 江戸川南
	多摩地区	八王子 立川 武蔵野	青梅 武蔵府中 町田 日野 東村山
神奈川県		横浜中 横浜南 神奈川 川崎北 藤沢	鶴見 保土ヶ谷 戸塚 緑 川崎南 川崎西 横須賀 平塚 鎌倉 小田原 相模原 厚木 大和
山梨県		甲府	山梨 大月 鯉沢

- (注) 1. 印の税務署では、(財)大蔵財務協会によるコピーサービス(有料)を行っています。
 2. 板橋税務署及び東村山税務署には、埼玉県内の路線価図等も設置されます。
 3. 東京国税局(千代田区大手町1-3-3 大手町合同庁舎3号館)の路線

価図閲覧コーナー(1階)でも全国の路線価図等が閲覧できます。

☆詳しくは、最寄りの税務署(資産課税部門)にお尋ねください。

ご存じですか！インターネットで税金相談！

インターネットだから、ご利用方法は、とっても簡単！

インターネットによるタックスアンサー！

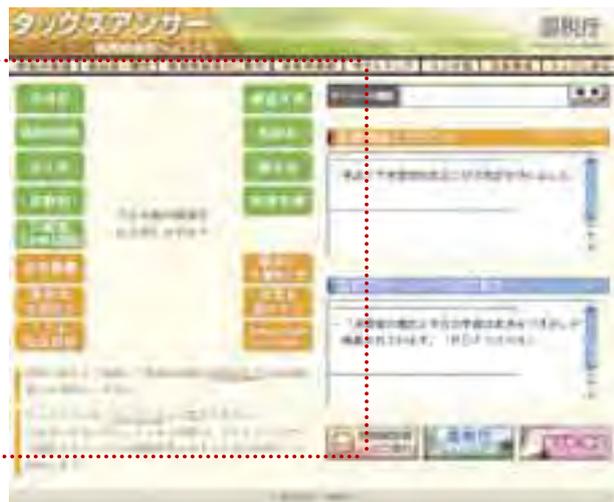
タックスアンサーホームページにアクセス！

<http://www.taxanswer.nta.go.jp>

知りたい項目をクリック！

タックスアンサー（税金相談）は、
税務相談室に寄せられた相談の中
から比較的簡易で利用の多い相談
項目を収録しています。

簡易定型的なご相談には、タックス
アンサーが便利です！！



◎タックスアンサーのご利用方法は、こちらに掲載されているインターネットのほか、電話・ファクシミリによる方法があります。

詳しくは、税務署で配布されているタックスアンサーコード表をご覧ください。

国税庁ホームページに「質疑応答事例」等を掲載しました！



ホームページのアドレス！

<http://www.nta.go.jp>

「質疑応答事例」等は、過去に国税当局が納税者の
皆様に回答した事例等の中から精選したものを、税目、
分野別に収録しています。

(平成17年3月1日現在、約1300件を収録)

具体的な事例の照会には、「質疑応答事例」等が便
利です！！

ここをクリック！

国税庁ホームページで
最新の法令解釈通達を
ご覧になることができます！

源泉部会 野外研修会

源泉部会 副部長 鎌田健二

上田部会長と初めての野外研修

5月12日、恒例の野外研修に出かけました。

車中でのクイズ形式による税務研修、水族館・博物館・資料館の見学と盛りだくさんの内容です。そして今回は、4月の総会で就任いただいた上田部会長にご一緒いただく初めての野外研修です。少し緊張ぎみの研修になるのでしょうか？

雨が降りそうな肌寒いお天気ですが、杉並公会堂前のバス車中に陣取った面々は朝から元気滂刺。さすがお年寄りのメンバーは朝に強い！緊張感も全くありません。部会長の爽やかなご挨拶をいただき、バスは「さいたま水族館」を目指します。

まずは税金クイズ。これが頭を悩ます問題が多いのですねえ、毎年。

源泉税に限らず、税務に関する幅広い知識が試される内容です。

「国民1人当たりのゴミ処理費用なんて分かる？」

「どれぐらいかねえ？結構かかるんじゃないの？」

「産廃業者が山積みにしてるゴミはどうなってるの？うちの廻りにゴミの山、いっぱいあるよ。」

「ゴミの山って言えばさあ、……」

博識な面々の会話は、どんどん広がっていきます。そして制限時間はどんどん無くなっています。

「さいたま水族館」は、広い駐車場と広い敷地、池と湿地に木道を廻らした羽生水郷公園の一面にあります。水辺にはシラサギやカモの仲間達を見ることができ、見学と散策と魚の餌づけで伸び伸びと時間を過ごしました。美味しい空気をたくさん吸い込みますが、お腹は減る一方です。魚や鳥がエサを食べるように、私たちも食事に向かいます。

食事場所は瀟洒な建物のレストラン。誰が知っていたのか間違えただけか、雰囲気もなかなか良いお店です。

「メインディッシュは魚とお肉、どちらにしますか？」なんて聞かれて、「今、水族館行ってきたから魚はいいや。肉にしてちょうだい。」「……」

まさか、水族館の魚を食べたりしてないとは思いますが……。

続いて「行田市郷土博物館」「さいたま資料館」の見学です。

「さいたま水族館」だの『さいたま資料館』だの聞いたこともないねえ。

面白いの？埼玉なんてロクな所がないからなあ。」などと口の悪いメンバーが言っていました。なかなか見ごたえがあり、皆んな興味深く見学し、案内の方の話に耳を傾けていました。さいたま資料館の周りは、さいたま風土記の丘として整備されています。国宝の鉄剣が出土された稲荷山古墳をはじめ9基の大型古墳が群集していて、半日くらい時間をとってユックリ見学したい場所です。

「今度、家族で来てみようかなあ」なんて声も聞きました。

ちなみに私は埼玉県の住民です。フッフッフ。



野外研修に参加した源泉部会の皆さん

源泉部会長就任ご挨拶

4月13日に開催されました第31回源泉部会定時総会における役員改選により、保坂前部会長からバトンタッチされました上田でございます。

このような大役を仰せつかり、正直なところ大変戸惑っております。

さて、ご存知のように源泉部会とは源泉所得税を中心に研修を行う部会ですが、法人会の集まりの中でも他とは違う側面を持っていると思います。

部会員として入会するのはもちろんそれぞれの法人ですが、実際に研修等に参加していただくのはそれぞれの会社の経理実務担当者がほとんどです。

社長さんのように、法人会の会合があるからちょっと出かけてくるよとか、会費はいくらだったよと、ある程度自由がきけば良いのですが、実際は出席のためにかなり気を使っておられるのではないのでしょうか。

各会社の皆様方のご理解をいただかなければ運営できない性格を持った部会ですので、各部会員が気を使わず出席出来るよう、逆にどんどん部会に送り出していただけるような雰囲気を各会社の方々に作っていただき、次回は誰が出席するのか順番待ちになるくらい気軽に参加できる部会にしていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

現在の源泉部会があるのも諸先輩方々、住田元部会長、保坂前部会長が長年にわたりご尽力されてのことではないかと思っております。

先輩の方々が築かれた源泉部会の名に恥じないような部会活動を目指して、出来る限り努力していきたいと思っておりますので、今後とも法人会の皆様方のご協力と、暖かいご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。



源泉部会長
上田仁士

JOSEI BUKAI

女性部会

女性部会第29回総会

女性部会幹事 大久保久子

あつという間の40分

平成17年4月6日(水) 荻窪法人会女性部会第29回総会が杉並会館にて行われました。

はじめに、梅津統括官に「四方山話」についてお話しをしていただきました。麻布税務署時代の思い出話や人生経験から学んだといわれる人生は60歳からというお話しをお聞きいたしました。本当にあつという間の40分でした。

次に総会では、井野場部会長の挨拶のあと議事第1号議案から第5号議案までを各委員がみなさんにご報告し、42名出席のもと滞りなく承認されました。

18時より懇談会に移り、今回から荻窪税務署の中村署長他3名及び水島会長、宇田川副会長にご出席い

ただきました。

今年度から、新しい改正があり私たち納税者との会合が行いやすくなりました。

宇田川副会長の乾杯のあと、ご来賓の方たちとテーブルを囲みながら和やかにみなさんが交流を深めた立食パーティーでした。短い時間でしたが楽しく過ごすことができ、無事に総会を終了することができました。お忙しい中、ご参加ありがとうございました。最後に次回も多数のご出席を心待ちしています。



水島会長、梅津統括官を囲んで

SEINEN BUKAI

青年部会



住田副会長講演

7月例会

住田副会長講演

青年部会副部会長 真野大岡 博之
幹事長 柴田夏航

会員最大のメリット

平成17年7月11日、こげし屋にて7月例会を開催しました。親会の住田副会長の講演ということもあり、先輩の皆様を始め大勢の部会員の方にご出席戴きました。ご講演の内容は、ご自身が経験してきた事業の事、事業継承の事、そして青年部会の事など、我々にとりまして身近な話題で大変参考になりました。

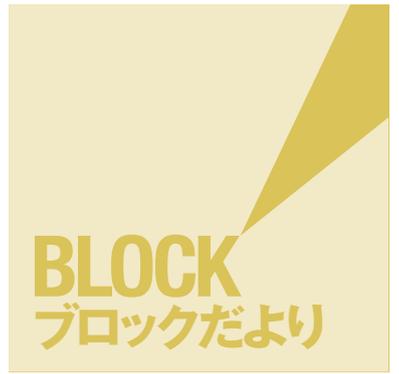
青年部会に於いて今回の様に諸先輩の方のお話を拝聴出来る事は、部会員の皆様にとりましても、最大のメリットではないかと思われました。最後に、ご講演いただきました住田副会長にこの場をお借り致しまして御礼申し上げます。



八丁打ち水大作戦ポスター

浴衣で参加しよう！

平成17年8月21日(日)〜27日(土)午後5時より、八丁通り商店街と荻窪法人会第6支部・第8支部主催による、深刻化するヒートアイランド現象に対抗するため、「打ち水」を行います。浴衣で参加の方にもれなく浴衣クリーニング券をプレゼントいたします。



八丁打ち水大作戦
第2ブロック副ブロック長 河又雅之

編集後記

上田さん、4年間にわたった22回の連載ありがとうございました。

パソコン、インターネットなどいろいろ勉強させてもらいました。この連載で覚えたことや、教えられた事は本や雑誌では書かれていない話でした。段ボールの開け方から検索の仕方まで私たち初心者丁寧に導いてくれました。この連載には、上田さんの苦悩が垣間見えるような気がします。全く新しい分野への挑戦だったと思います。その苦悩がすばらしいアイデアや企画力に表れています。わかりやすい文章にも脱帽です。これで、最終回になるのは残念でなりません。

ぜひ、これからも何らかの形で広報委員会に携わってください。景子さんにも感謝の気持ちをお伝えください。次回には景子さんをインタビューしたいと思っています。

広報委員長 鹿野修一